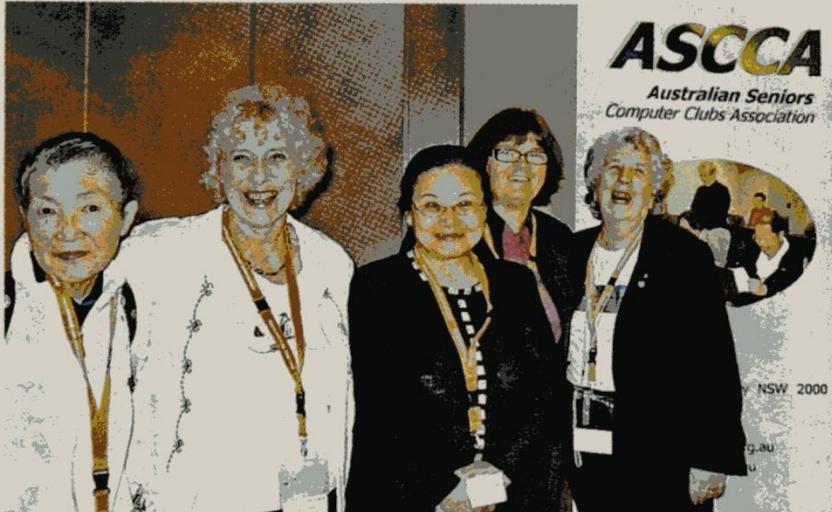


「マーチャン。また会えてうれしいわあ」。会員数4万人のオーストラリア高齢者パソコンクラブ協会(ASCCA)が11月中旬に開催した第14回大会。親友のシニアデジタル達人、マーチャンこと若宮正子さん(77)と参加した。大会には150人を超えるクラブのリーダーや後援団体が集まった。

「マーチャンの情報セキュリティ啓発の『パソコンのふたにべつたりパスワード』はよかつたわ。日本の俳句は知つていなければ、川柳はユーモアがあつて、シニアにはぴつたりよね」とASCCA理事長のナン・ボスラーさん(77)に褒められた。

ボスラーさんは5年前に韓国の延世大学で開催された国際会議でお会いし、私が日本で開催するシニアのITイベントに

シニア デジタル達人伝 豪パソコンクラブと交流



オーストラリア高齢者パソコンクラブ協会(ASCCA)の全国大会に臨んだ理事長のナン・ボスラーさん(右端)、筆者(左から3人目)=シドニー市内のホテル

毎回ネットで出演していた英国の講師による家族だけでいた。昨年からは特に「高齢者への情報セキュリティ知識の普及」という共通の問題に取り組んでいる。初心者が直面するトラブルは世界共通である。シニアにパソコンを教える苦労も同じらしい。

「耳が遠くて、一番前に座つても聞き取れない座つても聞き取れないっていうのよ!」「講師のすぐ隣に座つてもりいなさい」「教室のケーブルにつまずいて骨折したの」「大変だったわね。無線にするら大歓声が上がった。応援に行くわよ」。日本のシニアパソコンクラブとそつくりなやりとりが交わされている。

教える苦労は世界共通

ASCCAのホームページは「<http://www.ascca.org.au/>」。

（老テク研究会事務局長・近藤則子） ◇